



みんなで走つてみよう！

ゼロからのチャレンジ！！

町民1人1運動を目指したワンラン運動の事業の1つとして、平成28年から浅見寿太郎氏を講師に迎え「ゼロからマラソンにチャレンジ」が始まりました。

本事業をきっかけに、次第に個人でみなみの美の山さくらマラソンをはじめ県内や近県のマラソン大会に出場するかたが増え、事業が終了後にはさらに上を目指したいかたが愛好会を発足しました。このたび、愛好会に所属しているかたがホノルルマラソンに参加しましたのでご紹介します。



Q.1 ゼロからマラソンチャレンジに参加したきっかけとは？

大河原 全くマラソンなど運動をしてこなかつたが、今後のためにも足腰を鍛えようと思つて参加しました。

返町 「体を動かしたい」と思つていたところに誘いがあつて参加しました。

宮原 「何かしたい」と思つていたときにゼロからマラソンチャレンジの募集記事を見てみんなに声をかけたのがきっかけでした。

水上 メンバーから誘いを受けて、「みんなとなら楽しく続けられる」と思つて参加しました。

Q.2 辛かったことや楽しかったことは？

全員 最初の練習の後、足がパンパンになつて大変でした。

返町 駅伝大会において繰り上げスタートギリギリで櫻をつなぐことができた時、マラソンとは違い、「チームのため」という思いで頑張ることができました。

全員 これが「櫻をつなぐ」ということなかつたと思うことができました。櫻がつながつたことやチームで走れたこと、走ることの楽しさを知ることができたことがとても喜びに感じました。

Q.3 ホノルルマラソンに挑戦したきっかけは？

宮原 以前から参加してみたいと思つていました。その第一歩としてゼロからマラソンチャレンジで練習を重ねました。私も走つてみたいと思っていました。

全員 子どもたちも自立したことで家族の協力もあつてホノルルマラソンに参加することができた。家族の協力なしには参加できなかつたため、家族にはとても感謝しています。

Q.4 ホノルルマラソンに参加してみてどうだつたか？

全員 沿道にいるボランティアのかたからの応援があり力をもらうことができました。街中がとても盛り上がりついていて楽しかつたです。

Q.5 今後の目標は？

水上 これからも走り続けていろいろな大会に出席してみたいです。

宮原 いずれ東京マラソンに出場してみたいです。

返町 健康のために運動を続けたいと思うと同時に、走り続けるためにも健康でいたいです。

大河原 「健康第一」。今後も元気に生活を送るためにもみんなと楽しくマラソンを続けて足腰を鍛えたいと思います。

ぜひマラソンにチャレンジしてみたいというかたは、ご参加ください。

問合せ 教育委員会社会教育担当

62-4563